

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

10月31日現在		(前月比)
総人口	25,580人	(36人増)
男	12,538人	(27人増)
女	13,042人	(9人増)
世帯数	7,084世帯	(8世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

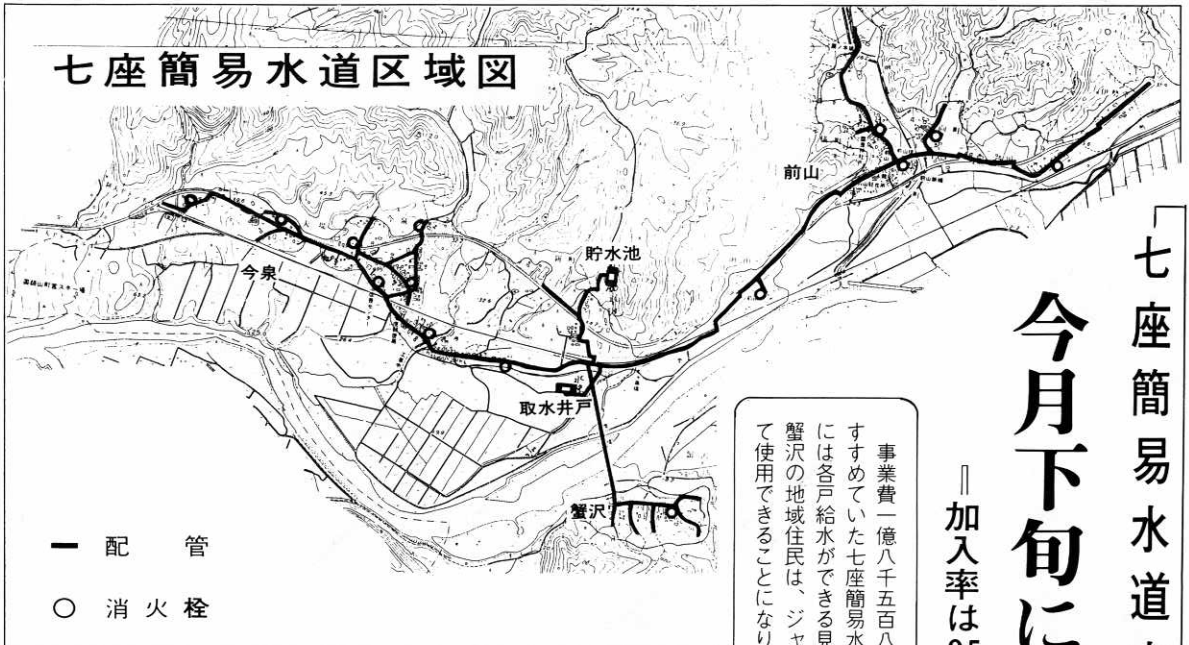


年の納め

ジングルベルの曲が聞こえてくると、何かしら落ち着かない気分になされます。一年の終わりとともに仕事や生活にも一つの区切りをつけようと思う一方で、大みそかまでにもう何日もないというあせりを感じるためでしょうか…。なにか「あっという間の年の暮れ」になってしまいました。

(1月15日号から12月1日号まで一面に掲載した写真です)

七座簡易水道区域図



七座簡易水道事業

今月下旬に給水開始

加入率は95%・三百二十一世帯

事業費一億八千五百八十万五千円で、今年の六月から工事をすすめていた七座簡易水道事業は、間もなく完成、十二月下旬には各戸給水ができる見通しとなり、簡水区域の今泉・前山・蟹沢の地域住民は、ジャグチをねじるだけで良質の水を安心して使用できることになりました。

完成した七座簡易水道の給水区域は、今泉、前山、蟹沢の三部落で、給水人口は一千四百人となっています。

水源は地下水で、米代川付近の今泉字根立場に取水井戸を設け、地下九メートルからポンプにより取水。このあと浄水池に送り塩素滅菌、ここからポンプアップして今泉新町付近の高山の配水池（容量二百五立方メートル）給水貯水能力十二時間）に送水。配水池から自然流下方式により各家庭に給水することになっています。

また、送配水管延長は一万六千六百六十五メートルで、内訳は直径十センチの送水管が七百四十五メートル、直径三センチから十五センチの配水管が九千九百二十メートルとなっており、配水管には十四基の消火栓を設置、給水のほかに消火活動にも大きな威力を発揮することになります。



「一日最大給水量は三百五十立方メートル」

七座簡易水道の一日最大給水能力は三百五十立方メートル、平均で二百五十立方メートル。また、一人一日最大給水量は二百五十リットル、平均百九十リットル。給水人口は一千四百人を見込んでおります。

これに対し、給水区域内は三百三十八世帯一千二百八十四人となっており、十二月十日現在の加入申し込みは、三百二十一世帯一千二百三十人となっており、加入率は世帯、人口とも九十五%と、高い加入率となっています。

「料金は十立方メートルで八百円の予定」

七座簡易水道の使用料については、十二月定例町議会に提案されたいま審議中ですが、提案されている一カ月の使用料金は、次のようになっています。

一般家庭で十立方メートルまでの基本料金は八百円、超過料金は一立方メートルにつき八十五円。

営業用は十立方メートルで一千円、超過一立方メートルにつき九十円。ほかに学校用、工場用、臨時用など使用料を区分してあります。

メーター使用料は、口径十三ミリの家庭用で一カ月百二十円ですが、いずれの使用料も坊沢簡易水道料金と同額となっています。

「総事業費は一億八千万円余」

七座簡易水道の総事業費は一億八千五百八十万五千円でした。

内訳は、取水井、取水ポンプなど水源施設に二百六十二万六千円、浄水場、電気計装、塩素滅菌設備など浄水施設に二千八百二十九万七千円、送水ポンプ、送水管布設に二千二百二十五万五千円、配水池建設、配水管布設一億一千九百六十六万九千円、量水器購入四百三十七万七千円、設計委託七百四十万円、用地費六十一万六千円、事務費二百六十五万五千円となっています。なお、事業費の財源は、国庫補助金五千八百四十七万三千円、町費二千四十三万二千円、起債一億六千九十万円です。

機動力もグンとアップ

除雪対策に

万全の態勢

冬将軍到来

厳しい冬将軍がやってきました。秋田地方気象台発表のこの冬の降雪予報は、例年並みだが一時的に大雪の恐れもあると述べています。町では、降雪により住民の生活や産業など、多面的な活動に欠くことのできない交通路を、途絶することのないよう、この冬も、除雪対策本部を設置、冬期間の交通確保に万全を期しています。

この冬の、町内の除雪延長は二百四十一・九キロにおよんでおり、これを、国が国道七号線など二十五・一キロ、県が小森・比内線など五十八キロ、町が残る百五十八・九キロを除雪することにより、町では、この冬の除雪に備え、このほど除雪グレーダーを一千二百四十九万二千円で購入したことにより、除雪機動力はブルドーザー、ロータリー除雪車、除雪ドーザ、スノーローザなど計九台とグンとアップしました。

しかし、町の除雪車だけでは百五十八・八キロの除雪は困難なため、例年どおり町の建設業者に八十八キロを委託して除雪することにしており、このための除雪機械借上予算一千九百七十万円を計上、交通確保に万全を期しています。

路上の除雪障害物は徹去を

町では、ある程度の降雪のあった日は、早朝から降雪作業にあたり、町民のみさんの生活に支障のないように除雪活動をしますが、除雪能率をあげるために、次のことについてみなさんのご協力をお

願います。

▽除雪中に障害物がありますと、作業の能率が低下するばかりでなく、その部分が除雪できなくなり、みんなに迷惑をかけることとなりますので、道路や側溝上に物を置かないでください。▽車の故障などのため、すぐ路上から移動できないときは、くいを立て赤い布などで注意表示をするとともに、すみやかに除去してください。

▽除雪により屋敷内に入った雪は、道路に押し出さないで、道路の端に積み上げるなどして交通確保にご協力ください。▽屋根から降した雪は、各家庭で責任をもって排雪、道路には出さないでください。

雪捨ては建設会館前の綴子川へ

北秋田土木事務所から、雪捨て場所として、例年どおり綴子川右岸、鷹巣陸橋下より下流柳生橋の間（建設会館前）が指定されました。

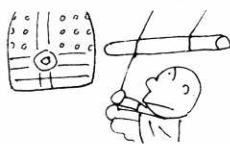
道路などに雪を押しださないで、指定の場所に捨ててください。

なお、例年、一部心ない人が雪といっしょにごみを捨て困っております。このようなことは絶対にやめてください。

なお、除雪に関するお問い合わせ、連絡は、役場建設課（電話二一・一一一）へしてください。

除夜の鐘

歳時記



十二月は、陰暦で「師走」とよばれていましたが、また別の名を「除月（じよげつ）」ともいいました。

十二月が「除月」で、三十一日つまり大晦日が「除日（じよじつ）」、その夜が「除夜」というわけで、百八つの鐘で知られる「除夜の鐘」の名称も、ここに由来します。

ところで百八つの鐘をつき鳴らすのに一時間から一時間半かかるそうですが、いくつ目ぐらいて年が明けると、ご存じですか。

昔は、百七つを年内につき、残りの一つを新年につくならわしだったそうですが、今では、午前零時つまり新年の合図に最初の一つを、年が明けてから残り百七つをつくお寺が多いようです。

どうして、このように変わった

てきたのでしょうか。

あるお寺では、その辺の事情について、こんな話をしていま

「ゴーンと尾を引くような余韻が消えてから次をつきますし、信者の方が入り代わり立ち代わり鐘をつかれるので時間は正確に測れません。百八つめをピッタリ午前零時に合わせるのは、たいへんむずかしい。昔は多少時刻がずれても、さほど差しつかえなかったでしょうが、今はラジオやテレビの時報もありますし、新年を告げる鐘の音が正確では、みなさんに申し訳ないですからね」

除夜の鐘も時代の流れには勝てず、といったところです。そういうえば、この夜に食べる「年越しそば」のそば粉はもろろん、タレに使うしょうゆの材料である大豆も、いまではほとんど輸入品とか。

除夜の鐘、年越しそばといった年の瀬の風物詩も世につれて変わってきていますが、何はともあれ、一九八〇年代がよい年でありますように祈りたいものです。



鷹巣地区住居表示

『三街区から町名変更請求』

町議会で近々中に公聴会

鷹巣地区の町名や区域をわかりやすくする住居表示は、住居表示

審議会の答申どおり「実施区域と方法」が九月定例町議会で本決まりとなり、来年三月一日スタートを目指す、去る十一月一日から三十日間、住居表示に関する法律に基づき「字の区域およびその名称の変更案」を公示したところ、次の三区域より町名変更請求書が出

されました。

町名変更請求書が出されたのは「寿町」を「花園町」に、「仲新町」を「住吉町」に、「西横町」を「米代町」にそれぞれ変更してほしいというものです。

この変更請求には、当該街区内の有権者五十人以上の署名が必要となっており、町選挙管理委員会では十二月三日に署名簿を審査し

た結果、三件とも正式に受理され、住居表示に関する法律により十二月五日付けでこの変更請求書を公示しております。

また、この三件の変更請求書は、現在開会中の十二月定例町議会に「字の区域および名称の変更」の議案に添えて提出されています。

議会では、この議案についてあらかじめ公聴会を開き、変更請求書が出された区域内に住所のあるかたがたから意見を聞いた後でなければ議決できないことになっていきますので、議会では近々中に公聴会を開き、三月一日実施を目指すこととなります。

なお、変更請求が出されている三街区の変更請求要旨は次のとおりです。

（寿町を花園町に）

私たちは、次のような理由により名称が「寿町」と公示されたことについて、全面的に反対を表明するものであります。

町当局の第一案、第二案ともに花園町として示されたように、この地域は花畑として昔から親しまれながら今日に及び、きわめてなじみの深いものであります。これにちなんで花園町という名称になった由緒ある町名であります。

法律の精神も、関係地域住民が古くからなじみ、親しまれてきた町名を尊重して実施することが望ましいとされています。町当局もそれを基本理念として「花園町」の原案を作成したものにほかなりません。

しかし、この度公示された寿町という名称は、当地域には全く縁もゆかりもないものであり、当街区の名称としてふさわしいものではないと断言。私たち関係地域住民の意志を全く無視した一方的なものであり、きわめて遺憾です。

以上の理由により、寿町を花園町に表示変更されるよう請求します。

（仲新町を住吉町に）

これから長い間使われる町名が、審議会における投票決定で決められたのは、余りにも機械的で住民感情を無視したものであり、釈然としない思いがあります。これは単なる感傷でなく、愛町精神に通ずるもので、大事にしなければなりません。

また、町当局の第一案、第二案ともに住吉町であるのに、仲新町という町名選定の過程や意図もよくわかりません。審議会への町名変更陳情も、総会の合意を得たものではありません。

長い間使われ、親しみ愛されてきた「住吉町」が、一番自然で抵抗がないと考えます。我々の先祖が何度も相談を重ねて選んだこの町名に、我々は誇りと愛情をもっております。と同時に、鷹巣町民としてもぜひ残したい町名と信じています。

住居表示法なるべく古い町名を残すことを大事な条件とする。とうたっている精神にも一致することであります。

以上の理由により、仲新町を住

吉町に表示変更されるよう請求します。

（西横町を米代町に）

○：該当する西横町は、「東鷹巣」「東屋敷」「寺東」「南家後」という四つの字名であり、「西○○」という字名は一つもありません。

まして、当地域は南北へ細長い街区なのに、どうして横町と呼ばねばならないのか納得できません。

地域住民が集会を開き、町当局の第二案「寺町」ということに意見が一致し、審議会に提出したにもかかわらず、地域住民の希望を無視し、「西横町」と決定したことには承服することができません。

○：私たち鷹巣町民は、元来、森吉山の霊峰を仰ぎ、米代川の清流を耳にしつつ、これを生きがいにして暮らしてまいりました。

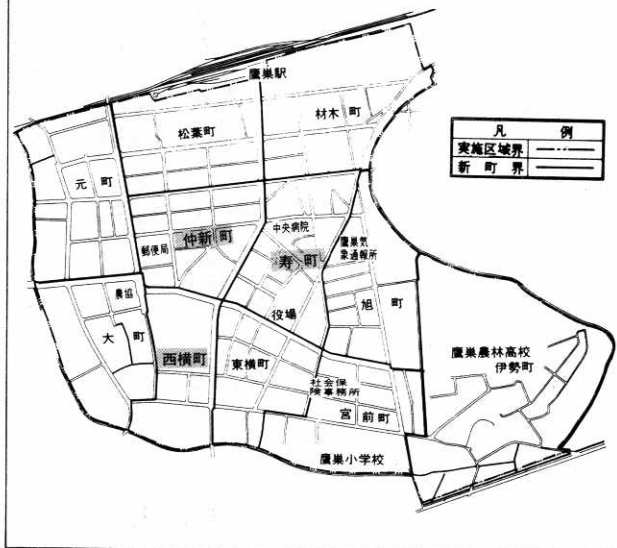
町民歌をはじめ、町内の各学校の校歌にも必ず「森吉」「米代」の語句が使われており、町民の象徴であり、かつわが町の代名詞のようなのです。

特に、県北の穀倉地を横切って流れる米代川のようど中間にあたる県北の中心都市たるわが町にとっては、絶対に無くすことのできない町名だと思えます。

従来、この地区の一部で使用されていた町名であり、鷹巣町に最もゆかりのある、そして街区としても最もふさわしい町名であると結論いたします。

以上の理由により、西横町を米代町に表示変更されるよう請求します。

住居表示実施区域及び町割と町名(案)



＝昭和55年度＝

保育園児入所
申請受け付け

昭和55年4月より入所を希望する保育園児
の受け付けを次により行っています。

記

①申し込み期間

12月1日より12月26日まで

②申し込み先

申請用紙を役場町民課福祉係か各保育園
から交付をうけて、福祉係に提出してく
ださい。

③入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。

④各保育園と定員

鷹巣保育園＝90名

うち三歳未満児 30名

南鷹巣保育園＝150名

うち三歳未満児 45名

七日市保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

綴子保育園＝60名

うち三歳児未満 12名

中央保育園＝90名

うち三歳未満児 20名

東保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

竜森保育園＝30名

四歳以上児に限る

※なお、現在入園中の方、保留される方
もあらたに申請してください。



町体育協会

『20周年を記念して』

式典や記念誌も発刊

財団法人鷹巣町体育協会の創立
二十周年記念式典が、十一月二十
四日午後一時から鷹巣公民館ホー
ルに関係者約二百五十人が参集し
て開かれました。

式典では、長崎佐太吉会長のあ
いさつのおと出川町長、畠沢県体
育協会長の祝辞、引き続いて表彰
にうつり、スポーツ振興に貢献し
た功労者として十三機関・団体と
十六人、組織発展功労者三十五人、
地域スポーツ発展功労者七人、選
手指導功労者二十五人、明治神宮、
国民体育大会出場表彰八十一人な

ど、十三機関・団体と百六十三人
に表彰状を贈りました。

記念講演では、ベルリンオリン
ピックで活躍した村社講平氏が「
スポーツと人生」というテーマで
講演。このあと祝賀会に入り、新
しく制定した体協旗、各単協旗を
前に、参加者は二十周年を祝うと
ともに今後の飛躍を誓い合ってい
ました。

また、体育協会では、二十周年
を記念して体協二十年のあゆみや
加盟団体の活動のあとを綴った、
百三十ページにおよぶ、記念誌「

躍動」も発刊しております。

「町立北幼稚園で
園児を募集」

町立北幼稚園では、五十五年四
月入園の園児を次により募集して
おります。

▽申し込み期限 十二月二十八日

▽申し込み先 入園願書は町教育
委員会と北幼稚園にありますので
交付を受け、記入のうえ町教
育委員会に提出してください。

▽募集範囲 綴子地区一円

▽募集人員 四十名以内（昭和五
十年四月二日から五十二年四月
一日までの出生）

▽入園通知 二月下旬まで保護者
に可否を通知します。

▽その他 授業料月額三千五百円、
教材費月額二千円程度
くわしくは町教育委員会におた
ずねください。

町長 日誌

11月16日～11月30日

16日 秋田県スポーツ振興審議
会 秋田市

17日 武田三太氏受賞祝賀会

18日 町職員上級第二次試験

22日 知事、町長行政連絡会
議 秋田市

23日 大館市・北秋田郡PTA
研修会

24日 交通対策特別委員会正副
委員長、議長との協議

24日 町体育協会二十周年記念
式典

26日 明利又生活改善センタ
ー竣工式

27日 大野台農免道路連絡協議
会

27日 大野台開発推進協議
会関係の陳情、全国治水
砂防促進大会、全国山村
振興連盟総会、砂防関係
事業費増額中央陳情、全
国町村長大会、北秋田町
村会協議会、鉄建協第三
十六回臨時全国総会

議会 日誌

11月16日～11月30日

16日 産業経済常任委員会

20日 建設水道常任委員会

24日 交通対策特別委員会正副
委員長、議長打ち合わせ

26日 交通対策特別委員会

26日 決算特別委員会

27日 全国豪雪地帯町村議
長会総会、全国町村議
会 東京都



雪道は
スリップ事故に注意を

飲酒運転は 絶対やめよう

十二月は、一年のうちで、最も交通事故の多い月です。

特に年末は、ドライバーも歩行者も、気分的に何かとあわただしくなります。一方で、交通渋滞が、ひんぱんに起きるようになります。気ぜわしさとイライラが高じ、ともすれば、スピードの出し過ぎ、無理な追い越しなどの違反運転が目立つようになります。なかでも、この時期にふえるのが、飲酒運転による事故です。酒を飲む機会が多くなる年末年始は、住民ひとりひとりの自覚のもとに総力を挙げて「飲酒運転はしない、させない」運動を展開しなければなりません。

「年末・年始」 防犯運動

12月11日
1月5日

年末・年始は、ふだんよりあき果やスリ・ひったくりの犯罪が多くなります。
鷹巣警察署では、十二月十一日から一月五日までの期間、年末・年始の防犯運動を展開しています。

あき果などの予防

あき果などのドロボーは、日中の買い物時がねられ、無錠の箇所から入られています。

「ルス」をするときは、「カギかけ」と近所への「声かけ」でドロボーからの被害を防ぎましょう。

スリ・ひったくりの防止

この時期に多く発生するのが、銀行帰りをねらうなどの「スリ」「ひったくり」です。
これを防止するため、混雑する

「この程度なら大丈夫」——これが一番危ないのです。くれぐれもご注意を。

また、積雪や凍結などによる道路事情の悪化で起る、スリップ交通事故も、依然としてあとを絶たない現状です。

歳末は、▽歩行者、自転車利用者の事故防止 ▽安全運転の確保 ▽飲酒運転の徹底追放……を重点目標にしています。

家庭でも、「交通安全家族会議」とひと声運動をすすめて、交通事故のない明るい町づくりにご協力ください。

場所や単独で銀行へ行くことを避け、二人以上で車などを利用するようにしましょう。

街のダニ、暴力追放
暴力は、私達の生活を脅かす悪質な犯罪です。

「しない」「させない」「みのがさない」運動で街のダニ、暴力を追放しましょう。たとえ小さな被害であっても、勇気をもって届けましょう。

少年の非行を防ごう

学校は冬休み、クリスマス、年始等の行事で気がゆるみがちになり、「たまり場」や盛り場、繁華街などでの少年の非行が増えます。非行の芽を早くつみとり、少年を正しく育てましょう。



図書館だより

教育博物館

唐沢富太郎著「教育博物館」(発行所・ぎょうせい)を購入しました。日本の教育の歴史を眼で見るぼう大な写真集です。一ページ一ページ、まさに博物館の中を見て歩いている思いがします。

この書、出版にあたって著者はつぎのように述べています。諸々に、いろいろな博物館があるのに、どうして教育博物館がないのか。……実は明治四年、文部省博物館が、旧昌平黄に設置し、後に上野公園内に移し、明治三十六年には陳列品一万六千点という立派なものがあつた。それが大正十二年の大震災で焼失しそのままになって

いる。欧米を回って見ると、どこにも教育博物館がある。ヨーロッパ人は実によく、伝統を守り、それを理解することによって自

らを自覚しようとしている。博物館に行つて直接に物を見ることによって、その物の中にこめられている心が感じとられる。日本にも教育博物館が設置されることを希つてこの書を出す。

上巻 日本の児童文化

○子どもの四季 ○男児の遊戯と生活 ○女児の遊戯と生活 ○幼児の遊戯、生活と玩具 ○児童の遊戯、風俗、生活、など中巻 「日本の学校文化」

○「くらし」に支えられた寺子屋 ○近世の学問と思想 ○近代学校の成立 ○近代日本の教育家たち、など下巻 「日本の生活文化」

○日本人の美意識 ○日本の風土と生活文化 ○いのち——信仰の「かたち」 ○書く——その哲学と美学 ○あそぶ——ゆとり「ゆたかさ」「わらい」○趣味の中の古典、など

註・写真は付録の復刻軸です。「郷土の教育史」を考える人方に役立つことをねがっています。



おしらせ

踏切の敷板を撤去

大館・能代保線区では、冬期間の排雪列車の運転効果を発揮するため、冬期間車両の通行しない踏切の敷板を、十二月一日から明年三月三十一日まで、一時取りはずしてありますのでご注意ください。当町関係の踏切は……

▽十二月一日から奥羽本線は今泉の根立場、前山の村向の二カ所。阿仁合線は鷹巣・小ヶ田間の四カ所。

▽一月一日から奥羽本線の坊沢の冷水貸、十八綱、上海老留、糠沢の下谷地の四カ所。

敷板を撤去した踏切には、車両通行止めと敷板なしの標示板がたてられています。

町道の一部を
冬期間通行止め

つぎの道路が冬期間通行止めとなりますのでご承知ください。

▽道路改良工事のため町道坊沢前山線(国道七号線)黒沢村下橋―う回路は、前山・馬屋沢

黒沢をご利用ください。

▽積雪の際町道坊沢大向線(坊沢伊勢堂―大向部落)―う回路

は、県道鷹巣大戸石線(川口、小ヶ田経由)をご利用ください。期間消費まで

製造業のみなさん

工業統計調査に
ご協力を!!

製造業を営むみなさん、今年も恒例の「工業統計調査」が行われます。

十二月三十一日現在での調査のため、年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われることは絶対ありませんので、安心してありのままをお書きください。調査は、従業員数などにより、甲、乙、丙の三種類に分かれています。

九島氏の水彩画を頒布



益金は歳末
たすけあいに

広報おしらせ欄に、カットを描いていただいております一線美術会会員九島寮二氏(伊勢町)のご好意により、今年も、歳末たすけあい運動の一環として「水彩画展」を開き、これを希望者に格安(水

彩画、額ともで一万円)でお分けし、その一部を町社会福祉協議会に贈ることになりました。

水彩画は、十二月十一日から二十日までの十日間、鷹巣公民館サロンの展示しておりますので、購入希望者は備え付けの用紙に、希望する画の番号、住所、氏名、電話番号等を記入のうえ、投箱してください。

希望者が多数の場合は、十二月二十一日に抽せん、該当者にご連絡いたします。

くわしくは、役場総務課広報係(電話二二―一一一番)におたずねください。

書きぞめ大会のご案内

新年の書きぞめ大会を次により開催いたしますので、お気軽に参加ください。

日 時 一月五日 午後零時

場 鷹巣体育館

出 品 自由(大きさも)

審査部門 幼児、小学校、中学校、高校、一般の五部門

入選発表 当日会場で表彰

用 具 用具、紙、手本など

作品返却 作品はお返ししないことを原則とします

作品展示 七日から三十一日まで、公民館に展示します。

参加申込 一月四日まで鷹巣公民館に申し込みください。

読書感想文コンクール

第十五回鷹巣町読書感想文コンクールを次に行いますので、多数の応募をお待ちします。

応募資格 小学校、中学校、高校、一般の四部門

課題図書 特に定めませんが、教科書、雑誌は対象としません。

表 彰 最優秀賞、優秀賞、努力賞(各部門とも若干名)

入選発表 五十五年一月末日

応募締切 五十五年二月下旬

応募先 鷹巣公民館

詰原稿用紙三枚以内、その他の部は五枚以内

出かせぎ者激励集会のご案内

町では、出かせぎ者の正月帰郷者を対象に、次により激励集会を開催しますので、ぜひ出席くださるようご案内いたします。

日 時 一月四日午後一時から
場 所 鷹巣公民館ホール
不明な点は、役場商工観光課へお問い合わせください。

「広報紙のなかから」 一年をふりかえる

十二月のこよみをみますと、神事、仏事、農事について、日ごとに「納めの…」なになにといった文字が目立ちます。これはくらしの上で一年のけじめをつけてきた先祖のいとなみだったことのしるしです。季節はくり返してきますが、新しい年を迎える私たちの気持ちや心構えは、多少ちがうものがありましよう。それが希望というものでしょうか。

広報紙のなかから、ことし一年(十一月まで)の出来事を抜粋してみました。

一月(睦月)

- 1日 午前零時に役場前道路で「第一回綱引き大会」を開催
- 4日 出初式「小笠原正一(鷹巣)佐藤辰雄(沢口)の両氏に有効章
- 6日 これまで最高の三百五十九名が参加して新年書きぞめ大会
- 14日 全国実業団バレーボールリーグ鷹巣大会
- 29日 芸文協新春懇談会

二月(如月)

- 1日 町民税の申告始まる「三月十五日まで
- 8日 三歳児むし歯のない子四十五人を表彰
- 11日 前野会館竣工式
- 16日 第十六回町民卓球大会、三百名が参加して熱戦
- 18日 坊沢簡易水道竣工式
- 20日 第七回町民スキー大会「雪不足のため回転は薬師山、距離は中央小グラウンドに分かれて開催
- 20日 町協力委員全体会議「永年勤続者十一人に感謝状

三月(弥生)

- 3日 第十回読書感想文コンクールに三百十六人が応募
- 7日 三月定例会「新年度一般会計三十三億六百万円余で前年度比八・九%の増、国保会計は八億三千万円台
- 18日 入学おめでとう大会
- 20日 岩谷分校で廃校式「一世紀の歴史に幕。これまでの卒業生は五百七人
- 24日 町連合青年会二十周年記念式典



▽九日「町内の各小学校の代表と町長の座談会」チビツ町づくりを語る

四月(卯月)

- 1日 全町若妻学級連合連絡協議会結成式
- 7日 県知事、県議会議員選挙。知事に佐々木喜久治氏当選
- 21日 第十七回河田杯マラソン大会
- 22日 町長選挙、出川礼一氏当選 投票率七十六・三三%で町長選挙では最低の投票率
- 25日 民生委員会全員協議会
- 29日 糠沢、綴子、小森、小猿部各河川でクリーンアップ
- ▽春の生存者叙勲で小塚定四郎氏が消防功労で勲七等旭日章
- ▽「緑の週間」にちなんで、二十日に緑化木二千五百本をプレゼント



▽中央公園さくらまつり「二十七日から五月三日まで

五月(皐月)

- 11日 21日 春の交通安全運動

六月(水無月)

- 12日 臨時町議会「大野台蟹沢線二千を舗装
- 13日 第八回全県へら釣り大会
- 19日 町内小学校交歓陸上競技大会
- 20日 大館市、北秋田郡小学校交歓陸上競技大会
- ▽十五日「二十七日の十三日間、秋田フィナンランド協会主催のフィナンランド、北欧研修旅行に当町から十二名が参加。森林資源の加工、スポーツの振興、北方圏の生活と文化などを視察研修
- ▽中央公園にトリムランニングコース設置、一周二・四
- 2日 全県中学校選抜野球大会
- 18日 27日 六月定例町議会「一般会計三十六億九千万円余に。町道改良、舗装整備費など可決。議会に交通対策特別委員会を設置
- 24日 交通安全子ども自転車大会「鷹小Aチームが優勝
- 25日 東小学校創立百周年記念式典、二百年に向け飛躍を誓う
- 30日 町内小学校女子バレーボール大会「優勝は鷹巣小
- ▽六月二十四日「七月十五日、中央公園で移動動物園、世界の珍獣三千頭。主催のAKTからオーストラリア産の「コブ白鳥」一つがいを贈られる
- ▽七座簡易水道事業開始
- ▽都市公園整備事業の一環として、中央公園下にテニスコート四面完成

七 月 (文 月)

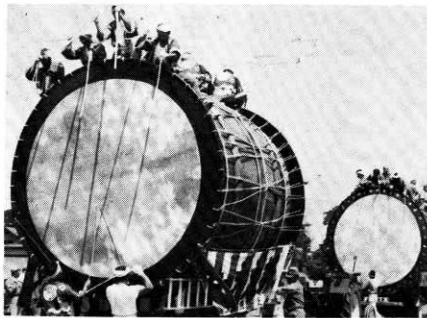
- 1日 鷹巣杯テニス大会
- 8日 第二十四回婦人家庭バレーボール大会(上舟木、坊沢、小森がそれぞれブロック優勝)
- 13日 鷹中PTAが選手の遠征費に不用品の即売会(公民館ホール)
- 14日 15日 第八回町内学童野球大会(鷹巣小が優勝)
- 17日 21日 町議会臨時会(摩当、向黒沢線工事請負契約の締結など)
- 22日 西小グランドで消防団の総合訓練大会
- 27日 知事との行政懇談会(道路問題などを要望)
- 29日 第十回全日本大学選抜相撲秋田大会
- ▽二十七(二十八)日 局地的な集中豪雨は、一夜で百十七ミリに達し、特に田沢川、糠沢川、綴子川上流、黒沢川の各河川が増水はらん、被害額は四億六千四百万円。

八 月 (葉 月)

- 1日 2日 子ども会のキャンプ村開く(中央公園)
- 5日 五城目町との交歓スポーツ大会
- 9日 全県消防大会 鷹巣体育館で開催
- 12日 第十二回全町子ども会相撲大会

九 月 (長 月)

- 八郎潟町・鷹巣町交歓テニス大会(町営コート)
- 14日 鷹巣・阿仁郷土芸能と青年の祭り(児童公園と役場前路上)
- 15日 成人式(四百十四人が大人の仲間入り)
- 17日 第四回歩行者天国(米代町)
- 24日 郡市小学校水泳大会
- 26日 第十七回町民体育祭(雨のため体育館でフィールド種目を競う)
- ▽二十七(二十八)日 住居表示審議会から区域、町割、町名の答申出る
- ▽県内では初めての全天候型陸上競技場(一周四百メートル、第三種公認)の建設が、鷹中グランドを拡張して工事始まる。
- ▽綴子上町で、これまでよりひとまわり大きい直径三・四五メートルの長さ四、重さ三トを越す文字通り「日本一の大太鼓」を新調
- 2日 町営テニスコートの竣工記念大会
- 9日 第六回全県学童相撲大会で鷹小が三度目の全県優勝
- 14日 25日 九月定例町議会(一般会計四十億三千五百万円に。七月の災害復旧に二億三千万円のほか、冬将軍に備え除雪費などを補正。上水道事業の五十三年度決算は二千八百万円の純益)
- 18日 郡市中学校駅伝大会
- 21日 30日 秋の全国交通安全運動
- ▽五日 全県消防訓練大会で、坊沢分団がポンプ車操法で優勝



- ▽十五日の「敬老の日」を中心に各地区で敬老会。当町の七十才以上は男七百一十一人、女九百五十九人、計一千六百七十八人
- ▽「物を大切にする運動モデル地



十 月 (神 無 月)

- 7日 衆議院議員選挙
- 9日 第三十五回全県駅伝大会中学校の部で鷹中が初優勝飾る
- 10日 第十五回町民駅伝大会(青年の部で綴子が八連勝)
- 第二回町民親子バレーボール大会
- 14日 第三回壮年ソフトボール大会
- 20日 鷹巣農林高等学校創立七十周年記念式典
- 26日 第一回町老人スポーツ大会
- ▽町営住宅二十六戸完成、総額一億四千六百万円余
- ▽二十日 健康教育の継続的実践



- 区」に指定を受け、旧鷹巣地区を対象に月一回廃品回収を実施。
- ▽町の生活改善花壇コンクールで坊沢グループが優秀賞
- ▽旧七座小学校跡地に体育館の建設始まる(五十五年三月二十日)

十一月 (霜 月)



- が認められ西小に文部大臣賞
- 1日 住居表示の区域と名称変更を公示、町名変更請求三件出る
- 2日 4日 東北総合バスケットボール選手権県予選大会
- 3日 「生活の中にいきづく文化の輪」をテーマに第十一回文化大北クロスカントリ中央公園大会
- 11日 第七回町民つり大会
- 13日 老人福祉大会(三百人参加)
- 14日 町議会臨時会(七座簡易水道工事契約変更)
- 24日 鷹巣町体育協会二十周年記念式典
- ▽地域のコミュニティーの場として黒沢と明利又生活改善センター完成
- ▽武田三太氏 秋の生存者叙勲で勲六等単光旭日章

長寿の秘訣は 意欲と節制の調和

『文化祭・長生き座談会から』

「年をとっても人手を借りずに健康な生活を送りたい」とは、誰もがねがうことである。保険衛生課では、文化祭行事の一つとして「長生き座談会」を開催し、長寿で健康な人方、八人に集まっていただき、その日常生活について語ってもらった。

共通点は 生活意欲と節食

事前にとったアンケートから、そして話し合いの中から、共通点としてあげられることはつぎのようなことであった。

- 1、毎日が楽しい。働くことが楽しい。
- 2、いろいろなことに関心をもち自分でも実行している。
- 3、生活規律を守っている。早寝早起き、小食、節煙、節酒など
- 4、経済的に安定している。
- 5、老人の集りを望んでいる。

そして、日常の生活をつぎのよう

に語っている。

和田喜代治さん (住吉町 85歳)



寺田スエさん (坊沢 78歳)

若い時から胃が弱くて、無理しなかったのが良かったようです。朝食は牛乳だけです。嫁とは何でも話し合っ、家事も掃除、洗濯など分担してやっています。

朝は四時に起き、夕食後は早く寝ます。仕事が好きで体を省みず

がんばってききましたが、今も健康です。何でもおいしいです。人の集まる所に出るのが楽しみです。

藤内セツさん (今泉 83歳)

三十年前から乳牛を飼い、一日三合の牛乳を飲んできました。自分でやれる家事は何でもやります。ひ孫を見るのと、毎月一回の老人クラブの集りが楽しみです。

藤内基太郎さん (今泉 85歳)

若い頃、体が弱かったので無理をせず、地域のためにいろいろと頭を使う仕事をしたのが良かったようです。家庭円満、宗教を信じ人のためにつくせば、自分のためにもなると思います。

長岐久蔵さん (七日市 88歳)

中国に四十年いて、長生き老人から聞いた食生活、こんにやく、梅干、野菜を食べることを忠実に守ってきました。酒は飲まないが煙草は一日十本吸っています。

渡辺勝蔵さん (昭和 87歳)

自分でできることは精いっぱいやってきました。老いてから指圧を学び毎日やっています。同好会をつくり人にもすすめています。一食一膳、小食です。

長谷川重光さん (昭和 78歳)

二年前、妻に死別してから食事を自分でやるようになり、衣食住の研究をするのが楽しいです。よく体を動かし、好きな時に寝て、好きな時に起き、読書します。話し相手のいないのがさびしいです。

部落訪問



なか ばた
＝ 中 煙 ＝

秋北バス明利又線は七日市から分れ、杉林を抜けると妹尾館に出る。そこから約二料ほど行くと、右手に見える小集落が中畑部落である。バス停からは、五、六十メートルもあろうか、舗装された道の側溝をきれいな水が流れ、静かな所である。

部落自治会長、長岐喜久雄さん(七日市農協・課長)とこの地区の歴史を研究しておられる島山益穂さん(竜森小学校教諭)を動機先に訪ね、部落の今昔についていろいろ聞いた。

部落から千五百メートル手前、妹尾館寄りの所を、小猿部川の支流、防川が流れている。昔、この川沿いの道が比内と阿仁を結ぶ重要な道であった。当時、この近くに「山田城村」というのがあって、「六郡郡邑記」宝永六年(一七三〇)家三軒と記されているが、これが中畑の前身ではないかといわれている。その後、場所を移転した。一時は十六軒まで増えたが、大飢饉で九軒に減り、また増えて現在に至っているという。明治になって用水を引き大開田がなされた。現在



部落自治会長の長岐さんは「昔はいろいろあったようですが、今は、和気あいあいの平和そのものです」と語っていた。島山家二、斎藤家一、長岐家九軒となっている。(公民館長 長崎 久)



で、末広町、花園町スポーツ同好会が生まれました。
さいわい、小学校開放で体育館を借りる事が出来るというので、早速、月一回の第三土曜日の夜六時より九時まで、毎月一回借りる事にしました。子供と一緒にスポ



花園町白根 昭子 (38)

スポーツで
地域の和づくりを

昨年、秋、町内の野球大会で優勝したの

スポーツが出来て、とても楽しい事です。バレーをやる人、バスケットをやる人、卓球をやる人、色々です。子供も親も汗びっしょりになり、スポーツを通して親子の対話、地域の親子の交流にはとてもよい事だと思っています。
ちょっと残念なのは、人数が少ないという事です。どうしても運動不足になりがちのお父さん、お母さん、子供と一緒にスポーツをやってみませんか。これからは、町内のバレー大会、親子バレー大会に参加出来るよう、町内に呼びかけて、練習をやってゆきたいと思っています。末広町、花園町のみなさん、毎月第三土曜日の夜は、出来るだけ都合をつけて、家族みんなで小学校の体育館へいってみま

わたしのお母さん

わたしのうちはすし屋です。お母さんは店のしごとをしています。しごとがおわって、いつもねるのは夜中の二時から三時ごろです。でも朝ちゃんとおこしてくれま



鷹巣小学校2年 和田歌織

ームをしてあそんでくれたり、ときどきおもしろいことをしてわ

みんなの広場



か き

果樹。甘柿は山形、宮城まで栽培されるが、秋田県では渋が抜けない。

(南小・阿部達雄先生)

広報のしおり

忘年会

忘年会の季節の訪れです。ものの本によると、昔は親類知人が一堂に会し、一年の労苦を忘れ、

かつ無病息災を祝いあうために、宴を催した。室町時代からの風習で、連歌などを楽しんだ優雅なものであったといえます。
しかし、今は、会社や役所など同じ職場で働く人たちの、酒を飲みみかわす「会」となったようです。景気の動きで宴の中身は変わりますが、年々盛んになっているよう

です。
温泉場のホテルや旅館の予約は好調で、十五日の土曜日をピークに、十二月の土曜日の夜は満席のところが多いようです。
忘年会で注意したいことは、飲みすぎなどによる健康への留意と、事故の防止です。年の瀬の酒席、心したいものです。

せんか。他の町内では、月三回、または週一回何曜日と決めて熱心にやってくる町内もあります。せっかくの学校開放です。まだ利用のしていない町内の皆さんも、これから冬に向かい運動不足になりがちな体を、スポーツで健康づくりに、地域の和づくりに挑戦してみたいかがでしょうか。地域のスポーツ同好会がさらに発展し、成人学級、婦人学級となつて学習活動も行っているグループが数多くあるようです。
今の社会は、問題が沢山あります。グループの中で、テレビに熱中し過ぎる子供たちのことなど、しつけの面で気軽に話し合ったりすることができれば、本当に素晴らしいことだと思います。

たかのす文芸

＝短歌＝

雑詠

南鷹巣 朝日了回

ひたぶるに心動きて夜半に覚む
メモしおきたる歌くちずさむ
座のめぐりに反古紙を散らし小半日
たたかうがごと歌つくるわれは
張り替えせし障子の白きに物のかけ
一瞬うつりぬ風音もなく

十二月の追憶

末広町 田中実子

練習機旋回しつづ雲に消ゆ学徒兵らの
名をアナウンスす
戦いはいいよ激し脳院に病みいし兵ら
手をひかれ来る

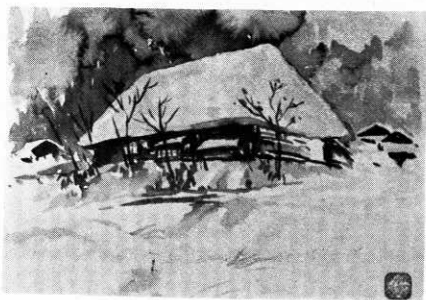
防空壕満員なれば只一人壕外に佇てり
十九の吾は

雑詠

末広町 小坂カチエ

野鳥のため残せし柿の六つ七つ椋鳥群れ来て
朝々啄む
昏れなずむ空ながめつつカチカチと時計の音きく
一人は淋し
喜びも悲しみも又淋しさも過ぎ去りゆきて
早も年の瀬

おしらせ



一級美術家 九島 豊二氏

十二月の健康相談

成人健康相談は、二十六日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。場所は、鷹巣公民館保健相談室です。

一歳六ヶ月児健康診査は、二十七日、五十三歳四月生まれと五月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から二時まで、鷹巣公民館ホールで行います。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

乳児健康相談は、二十日、五十四年八月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時半から一時まで。

離乳食実習指導は、二十日、五十四年五月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

年末・年始
役場の仕事

年末・年始の役場関係の事務は、十二月二十九日から明年の一月三日まで休みます。

ただし、一部は次のとおり仕事を行います。なるべく二十八日前に用事をすませるようご協力をお願いします。

▽町民課戸籍係
二十九日の正午まで。印鑑証明等必要な方は、できるだけ早めに取るようにしてください。

▽収入役室
二十九日の正午まで支払いを行います。

▽税務課徴収係
二十九日の正午まで税の収納を行います。

▽衛生センター
三十一日の正午まで操業します。年末近くになると、汲み取り申し込みに応じきれない状態ですので、早めに申し込むようにしてください。

年始は、一月七日より操業します。

年末ゴミ収集

ゴミ収集は、二十八日まで日程表どおり実施します。

年末になるとゴミの量が多くなりますので、各家庭では計画的に整理し、休み期間中は集積所へ絶対にゴミを出さないよう、ご協力を特にお願します。

また、冬期間はポリバケツ等は破損しやすくなりますので、集積所にゴミを出す場合はダンボール、じょうぶな紙袋、ゴミ用ポリ袋に入れてください。

年賀状の差し出しは
遅くとも二十日まで

郵便局では、十五日から年賀状の受け付けを始めますが、元旦の配達に間に合わせるため、遅くとも十二月二十日までにお出しください。

年賀状をお出しになる時は「鷹巣町」と「その他」に分けて、簡単な紙札をつけ、郵便局で配付した差出袋をお持ちの方は、それぞれの袋に入れたうえ、該当するものに〇印をしてお出し願います。

また、お年玉つき年賀はがき以外の普通はがき（私製など）を使用する方は、表面に「年賀」と朱書してください。郵便番号はあて先だけでなく、差出人であるあなたの番号もお忘れなく。

善意

▽大町 高橋栄一さんから一七、〇〇〇円

▽大町 奈良幸恵さんから講師謝礼金五、〇〇〇円

▽松葉町 小畑ミツエさんから病氣見舞へのお返しとして二〇〇、〇〇〇円（青山荘へ指定寄付）

それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に深く感謝いたします。

▽藤株 近藤一郎さんから亡母クニさんの香典返し
五〇、〇〇〇円

▽昭和 畠山貞助さんから亡長男貞徳さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

▽坊沢上町 佐藤秀信さんから亡父源助さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

▽坊山 佐藤喜代松さんから亡父喜一さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

▽舟見町 加藤ミツ子さんから亡夫浅吉さんの香典返し
三〇、〇〇〇円

▽脇神 中島信義さんから亡妻道枝さんの香典返し
七〇、〇〇〇円

▽上野 中島米助さんから亡妻サタさんの香典返し
二〇、〇〇〇円

誕生おめでとうございます
11月16日～11月30日



戸島 晃子（厚志 長女）坊沢大町
斎藤雄一郎（定雄 長男）糠沢
福岡 公平（正志 長男）南鷹巣
二人の前途を祝福いたします

松尾 敏夫 太田

長谷川 裕子 末広町

畠山 一夫 藤株

佐藤 真紀子 大館市

佐藤 由広 深沢

大川 美代子 黒沢

畠山 敏彦 三ノ渡

桜庭 よね子 蟹沢

笹原 忠雄 湯ノ岱

三浦 以志子 阿仁町

佐藤 良成 新潟市

出川 美智子 あけぼの

おくやみ申しあげます

三上 ヨシ（84歳）松葉町

藤島 権蔵（79歳）大堤

茂呂 安彦（54歳）今泉

松尾 ナツ（82歳）太田

河田 トワ（52歳）桜木町

津谷 リサ（73歳）学校通

中島 サタ（56歳）上野

佐藤 与市（79歳）今泉

上田 正治（66歳）伊勢町

松尾 豊太郎（77歳）摩当

小田 島金一郎（69歳）舟見町

成田 チヨ（84歳）坊沢上町

樽沢 松太郎（81歳）東旭町

近藤 儀市（72歳）南鷹巣

藤田 ミナ（86歳）前山

成田 ヨシエ（61歳）あけぼの